

パブリックコメントの実施結果について

「篠栗町第二次ささぐり健康プラン（案）」に関するご意見と町の考え（回答）について

受付期間：令和6年2月9日（金）から令和6年3月9日（土）

受付人数：3名 意見件数：12件

| No. | ご意見内容 | 町の考え（回答） |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 幼き時からの性教育をしてほしい。性教育をするのが遅すぎる。（受け入れやすい、わかりやすい内容で、恥ずかしいと思う前に） | ご意見ありがとうございます。プレコンセプションケア（若い世代からの健康づくり）の推進は、学童期からの性教育なども含めた取り組みとなります。学校等とも連携して、取り組みを推進して参ります。 |
| 2 | アドラー心理学などを学校教育に取り入れてほしい。（もっとみんないろんな考えを持っていることを知った上で、一人一人がものを考えられるように） | ご意見ありがとうございます。学校教育課にご意見をいただいた旨を情報共有し、町政に役立てたいと思います。 |
| 3 | ファミリー・サポート・センター会員（どっちも会員）で活動して、毎月送迎や託児の依頼がありますが、時に依頼が重なり対応できない日もあります。お願い会員さんが依頼しやすいように集団託児の日を設けること。まかせて会員さんも一人では不安で仕方ないと話されることをよく耳にするので、児童館での集団託児なども増やしてほしい。 | ファミリー・サポート・センター会員として活動していただき、ありがとうございます。いただいたご意見を踏まえ、今後の年度計画に活かしていきたいと思います。 |
| 4 | その他にもファミリー・サポート・センターのお願い会員から、以下のような話を伺っている。 ・どんな人がどんなことをしているのかよく分からないので頼みにくい。 ・1時間の料金がなくて専業主婦には毎回頼みづらい（町からの助成金希望） ・30分刻みの料金設定の希望 | ファミリー・サポート・センターの利用者様のご意見を共有いただきまして、ありがとうございます。ファミリー・サポート・センターの事業内容に関しまして、広報誌等による発信を検討して参ります。 |

| | | |
|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | ・料金改正 | 料金設定につきましては、1時間を超えた後は15分刻みとなっております。 |
| 5 | P134にある『子育てサロンの充実』について、具体的にはどのような状況を想定しているか。現状は子育て中の母親が中心となり、運営しており、さらに現状の体制のまま頻度や内容の充実を進めるのは難しいのではないか。ボランティアではなく、予算の確保や町の職員の関与など検討できないか。 | ご意見ありがとうございます。この数年、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながらの子育てサロンの開催となっております。今後は内容の充実につながるような備品や用具の充実、継続的に利用いただけるように広報による啓発を充実して参ります。いただいたご意見につきましても、今後の参考とさせていただきます。 |
| 6 | 発達障がいが増加していることを町も把握しているようだ。発達相談や発達検査のスクリーニング機会などを増やし、親も子も特性について理解できる機会を増やしてほしい | ご意見ありがとうございます。町では、保健師がお子さんの健康や育児に関する相談に応じる育児相談や1歳半以上のお子さんの言葉や発達について臨床心理士のアドバイスを受けることができる幼児相談を実施しています。また、乳幼児健診については、発育段階に応じて実施しているところです。いただいたご意見につきまして、今後の参考とさせていただきます。 |
| 7 | 子育て支援センターがなく、子どもを遊ばせることができる場所がない。オアシスの1室を開放するなどして居場所として活用できる子育て支援センターを開設してほしい。 そのための人員も1人確保してほしい。 | ご意見ありがとうございます。子育て支援は、町としても積極的に取り組みを推進することとしております。いただいたご意見につきまして、今後の参考とさせていただきます。なお、各小学校区の児童館においては地域子育て支援拠点事業を実施しており、子育て親子の交流の場となっております。また、子育て等に |

| | | |
|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | 関する相談、援助の実施、子育て関連情報の提供も行っております。 |
| 8 | ファミリーサポート事業の登録者数が増えていることは分かったが、「おねがい会員」が増えていて、「まかせて会員」や「どっちも会員」の増加ができていないのではないか。実情を把握して対処してほしい。 | ご意見ありがとうございます。ファミリー・サポート・センター事業において、委託事業者と共に現在「まかせて会員」及び「どっちも会員」の普及啓発、また講習会の在り方や実施方法を見直し、会員の増加に取り組みます。 |
| 9 | 健康づくり推進員として、これまでがん検診の受診勧奨に関わってきた。今回は生活習慣病予防と健康管理の目標の取り組みに記載されている。活動の幅を広げ、取り組んでいきたい。 | 健康づくり推進員として、町の健康づくりに参画いただきましてありがとうございます。引き続きよろしくお願い致します。 |
| 10 | ライフステージの記載において、『青年期』『壮年期』となっていますが、『青年』や『壮年』とは男性を表す言葉のように感じる。ジェンダーレスが声高に言われる昨今、この表記でよいか。 | ご意見ありがとうございます。「青年」「壮年」は男女問わず、用いられる用語となります。 |
| 11 | ライフステージの記載において、『産後』については書かれていない。第7章の母子保健計画においても、乳幼児期においては『保護者』という表記であり、『産後』のケアについては特記されていない。産後は、特に身体的にも精神的にも不調やマイナートラブルが起りやすく、不安定で、心身のケアや周りの人の注意も必要。『産後』に対する取り組みも充実させてほしい。 | ご意見ありがとうございます。産後も含めた妊産婦の支援は、町としても積極的に取り組みを推進することとしております。いただいたご意見につきまして、今後の参考とさせていただきます。 |
| 12 | 篠栗町は、森林セラピー基地であり、森林セラピーは科学的にも効果が認められている。町外の企業で精神的な理由で休職している人が復職前に森林セラピーを活用する例もある。町としても森林セラピーを活用してほしい。 | ご意見ありがとうございます。国も「自然と健康になれる環境作り」と健康増進計画の柱の1つとしており、本町でも森林セラピー等も踏まえた健康になれる環境作りを推進して参ります。 |